



中総総 130 号
平成 19 年 4 月 25 日

国土交通省道路局長 様

中頼別町長 野邑 智雄



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について
平成 19 年 4 月 2 日付国道企第 114 号でご依頼がありましたこのことにつ
いて、別紙のとおり提出しますので、よろしくお取り計らい願います。

(総務課総務グループ)

主幹 神成 和弘

TEL 01634-6-1111

FAX 01634-6-1155

道路整備に係る中期的な計画に対する意見

中頓別町

対象路線 国道 275 号 国道 40 号 国道 238 号

1 経済・物流

宗谷管内は第一次産業である農業（酪農）や水産業の盛んな地域であり、物流のための道路整備は、地域にとって死活問題となるほど重要なものである。

新鮮な生乳や海産物を鮮度の落ちないうちに安定的に消費地に輸送し、消費者に安心・安全な食糧を供給できる道路整備が望まれる。

2 防災・医療

南宗谷地域の生活圏や医療圏は名寄市や旭川市である。公共交通事情が不十分な当地域にあっては、生活用品の購入や通院などマイカー利用率が高い。また、一刻を争う急患搬送についてはできるだけ短時間・安全に高度医療に対応できる都市部の病院に搬送できるような道路整備が望まれる。

災害時の対応として交通寸断を避けるため、迂回路などの対応が必要であるので国道と町道、道道などとの連携した整備が必要である。

3 ライフライン

北海道は積雪寒冷地であり、半年間は雪や地吹雪など安全な通行に大きな障害となっている。整備された道路が1年中効率的、効果的に利用できる状況を確保するため冬期間の除雪対策の充実を図り、生活路線としての役割りが確保できる道路整備が望まれる。

4 交通安全

道路整備が進み、自動車にとって快適な走行が確保され、利便性が向上する反面、速度超過やハンドル操作ミスなどによる交通事故が多発傾向にある。郊外の道路にはまだまだ狭隘箇所や逆バンク、急カーブなど危険箇所が多く存在し、それらを解消する道路整備が必要であるが、特に市街地内の速度抑制、歩行者の安全確保も併せた整備が望まれる。